

## 平成21年度 第2回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成21年9月11日（金）  
午後3時30分～午後5時00分  
場所 花見川区役所2階講堂  
出席委員数 22名  
欠席委員数 6名  
事務局 7名

### 【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題（1）区地域福祉計画の推進状況について  
（2）区地域福祉計画の見直しについて  
（3）その他
- 4 閉会

### 【2】議事要旨

委員定数29名のうち、23名出席、6名欠席を確認し開会した。  
事務局司会の下、配布資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

#### 議題（1）

##### 区地域福祉計画の推進状況について

保健福祉総務課および社会福祉協議会から区地域福祉計画の推進状況について資料に沿って説明があった。

#### <質疑応答>

委員： 町内自治会長が地域福祉を理解していない。区計画の過半数の取組項目は町内自治会が主な担い手であるので、町内自治会長の理解が不可欠である。

委員長： 町内自治会長に区計画を読んでもらえれば自治会活動と関連があることは理解してもらえと思うが、それも難しいだろう。機会があれば委員の皆様からもPRおよび説明をしていただきたい。今後区計画を進めていく上で、重要になってくる。

事務局： 地域福祉計画について、PRが地域住民に行き届いていないことは認識している。今後、各種団体・組織等を通じてさらにPR

するとともに、広報紙等各種媒体を活用していきたいと考えている。

委員：【資料１】の「自助・共助・公助」の分類と区計画の「想定される主な担い手」は一致しているのか。

事務局：各取組項目を一つひとつ検証して分類した。

委員：地区部会がやれる範囲のものは概ね実践されている。一方、実施されていない項目は、地区部会だけでは実施が難しいようなものが残っている。他団体との連携や行政からの支援なども必要だと思われるが、事務局は、どのように考えているのか。

事務局：行政の支援によって実施が期待できるものについては、支援の機会を作らなければいけないと考えている。これを位置付けるのが市計画であり、区計画をどう支援するかが次期市計画の目標である。

他方、実施が困難なものについては、計画の見直しに伴って次期計画から削除するということも検討していただきたい。

委員長：取り組みにくい項目をどう扱うかは課題の一つである。削除するのか、実施すべき項目として残すのか検討していきたい。

## 議題（２）

### 区地域福祉計画の見直しについて

福祉事務所から見直しスケジュールについて、保健福祉総務課から自助・共助・公助の分類について資料に沿って説明があった。

#### <質疑応答>

委員：幕張町の地区部会がない地域は、幕張・武石地区部会に含めて考えるのか。

委員長：地区部会のエリアとして考えるべきだと思う。

福祉事務所から、見直しの考え方について資料に沿って説明があった。

委員：誰もが安心して暮せる地域社会づくりのためには福祉教育が必要不可欠であるので、計画の追加項目として取り入れていただきたい。

委員：実施されていない項目の中に「地域福祉を考えるパネルディスカッションの開催」があるが、福祉教育の一環として実践してみてはどうか。

「介護予防活動の普及」についてあんしんケアセンターとの連携

が必要ではないか。

花見川地区部会の「あいあい生活支援事業」について現状を伺いたい。

委員長： 「あいあい生活支援事業」について、登録しているボランティアは約１００名。予想以上に利用がある。内容は、庭木の剪定、草取り、水道パッキンの交換、電球の交換、エアコンフィルターの清掃などである。

事務局： このような日常生活支援事業が他の地域にも波及することを期待している。

委員： 時代の変化に沿った新しい項目を追加してはどうか。  
また、他区にある項目で、花見川区にない項目があればそれを取り入れてはどうか。

委員長： 検討していく。

### 議題（３）

#### その他

事務局から推進協だより第７号の発行について説明があった。

最後に委員長から閉会の挨拶をし、午後５時００分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。